

# 登山者の無事を願う

～ 山を愛する心優しき救助隊 ～



設立 昭和34(1959)年  
 隊員数 35人(袖垣吉治隊長)  
 事務所 岐阜県北アルプス山岳遭難対策協議会内(新穂高センター)  
 奥飛驒温泉郷神坂710-9  
 TEL・FAX 0578-89-3005  
<https://www.kitaalpsgifu.jp/>

北アルプスの岐阜県側で遭難した登山者の救助活動にあたる組織が、岐阜県警山岳警備隊と民間組織の「北飛山岳救助隊」です。

北飛山岳救助隊の設立は昭和34年。旧上宝村と神岡町の若者たちで結成されました。当初は県警山岳警備隊をリードする存在でしたが、同隊が全国屈指の救助技術を有してからは、同隊と連携を取りながら合同で遭難者の救助やパトロールなどにあたっています。

7代目の隊長、袖垣吉治さんは地元の神社で神主を務めます。「隊員の職業は会社員や自営業などさまざままで休日が分かれており、何かあった時に救助隊を編成する折合いがつきやすいんですよ」と話します。

## 救助隊の主な活動



発足から今年10月末までに914件の遭難救助に出動し、1,069人を救助しました。

最近の登山ブームを受けて、北アルプスの登山者は急増。県では登山届の義務化に踏み切りましたが、登山者の無理な登山計画が原因となる遭難は後を絶ちません。袖垣さんは「山ではどんなベテランでも絶対に無理をしてはいけません。だからこそ安全ルートの研究も大切な任務」と力説します。

救助隊では、遭難事故を1件でも減らせるように、また出動した隊員自身に事故がないように、さまざまな訓練を年中重ねています。それは技術的にも肉体的にもハードな内容ですが、隊員は登山者の無事を願う一心で熱心に活動しています。

— 隊員はみんな山が好きなんです。

地元の山で遭難した人をほっとけないですよ—  
 そう微笑む袖垣さん。隊員の地道な活動はこれからも続きます。

いい子になるっておばさんがほしうするよ。」といつてリンゴをくれたそうです。高山の人と話をするといつも心が温かくなります。

このように高山には、すでに数えきれないほどの良いところがたくさんあります。未来の高山には「人間にも自然にもやさしい高山」であり続けてほしいと思います。私が大好きになった「自然」「歴史」「野菜」「人」をこの先もずっとそのまま残していかないとけないと思います。そのためにも、自分が色々な人に教え、知ってもらって他の方たちが高山の宝物を守っていきけるようにしたいです。

僕らには、苗うえと収穫を手伝います。それだけでも大変ですが、元気な米を作るためには、米に水をあげたり薬をまいたりもします。少しですが昔の人達と同じ経験することで、食べ物ができるまでの大変さを知ることができました。それによって、自然を大切にすると共に、自然によって作られた食べ物も大切にすることを学びました。

僕は、三枝小学校で自然を大切にすることが、生き物や食べ物にもつながっていることを学びました。だからこそ、これからは自然を大事にしていききたいし、そのことを下級生や地域の人達にも伝えていきたいと思います。

## Topic ほかの人の励みになる心打つ活動が評価

### — 東海・経営と心の会「東海・こころの賞」を受賞 —

北飛山岳救助隊は9月30日、第30回「東海・こころの賞」(東海・経営と心の会主催)を受賞しました。

受賞の理由は、「多発する山岳遭難事故に長年対応。遭難者救助や事故防止活動がほかの人の励みになる心打つ活動」をしていることです。受賞おめでとうございます。

